

道徳指導展開案（略案）

室根村立折壁小学校 大 竹 博 行

- 1 日 時 平成15年9月18日（木）5校時
- 2 対 象 室根村立折壁小学校 第5学年 1学級（男11名 女10名 計21名）
- 3 主題名 夢の実現に向けて 「1－（2）勇氣、希望、不撓不屈」
- 4 資料名 メジャーリーガー・イチロー （出典 みんなのどうとく5年 学研）
- 5 ねらい より高い目標を立てて、困難や失敗にくじけずに、一步一步努力して目標を達成しようとする気持ちを育てる。
- 6 展開案

段階	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点
導入	<p>1. 本時の学習に興味・関心をもつ。</p> <p>○ グラフを見て、感じたことを発表しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな夢や目標をもっているんだな。 ・みんな頑張っていると感じているんだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・心のアルバム①を基にしたグラフから、自分たちの取り組みの意識の状況をとらえて、本時の学習への興味・関心をもたせる。
展開	<p>2. 資料「メジャーリーガー・イチロー」を読んで、イチローの生き方や考え方からどんなことを考えたか話し合う。</p> <p>○ イチローは、どんな気持ちで父とふたりで練習をしていたでしょう。</p> <p>○ 1軍と2軍の繰り返しだったとき、どんな気持ちだったでしょう。</p> <p>○ 1軍で活躍するようになったとき、どんな気持ちだったでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・野球がうまくなりたい。 ・もっと強い打球を打てるようになりたい。 ・父に支えられているからそれに応えたい。 ・一流のプロ野球選手になりたい。 ・悔しい。 ・もっと練習をしなければ。 ・今に見ている。 ・足りないところを見つけて、力をつけよう。 ・やっと努力の成果が出た。 ・これで一流選手の仲間入りができた。 ・これだけで満足はしてられない。 ・もっとレベルの高いプレーをしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の夢に向かって、目標をもち一つずつ達成させながら練習に取り組んでいることをとらえさせる。 ・求めていることができないときの苛立ちが、自分たちにもあることに気付かせる。 ・思うように結果が出ないときにもくじけず、自分の課題を見つけて解決のために立ち向かっていく気持ち、人知れず努力しているイチローの姿から、目標もつことや努力の大切さを考えさせる。 ・活躍するようになっても、今の自分に満足することなく、さらに高い目標をもって努力するイチローのすばらしさに気付かせる。

展開	心 に ひ び く	<p>○ メジャーリーグへの挑戦を決意したイチローは、どんな気持ちだったでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・決めたからには、とにかくやってみよう。 ・何を言われても自分の努力しただけで何とかなるはずだ。 ・努力を惜しまず、練習に励めば必ず結果はついてくる。 ・一つ一つ目標をクリアしていけばだいじょうぶ。 	
		<p>3. 学んだ道徳的価値と自分の体験を重ね合わせて、今までの自分の生き方や考え方に気付く。</p> <p>○ いろいろな目標を立てて今まで取り組んできました。今も目標に向かって取り組んでいることがあると思います。そのときの自分は、目標に向かってどのように取り組んでいたか考えて、気付いたことを書きましょう。</p>	<p>〔 ちょっといやなことがあると逃げたくなった。 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できそうもないと思うと、あきらめようかと思ったりしていた。 ・一気に目標に近づこうとして、無理なことをして、途中であきらめた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・考える観点として、場面、行為、気持ちをはっきりとさせる。
		<p>4. 自分の考えと他の人の考えを比較し、お互いのよさや可能性に気付く。</p> <p>○ ペアで書いたものを発表しましょう。</p> <p>○ 次のような点に気を付けてくればながら聞きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の考えのよさを見つける ・相手の可能性を探す ・相手の頑張っていることや頑張っていたことを思い出す <p>○ ペアの話し合いで気付いた考えのよさを発表し合いましょう。</p>	<p>〔 他の人の考えから、自分が気付かなかったことに気付く。 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の体験からもっとこうすればできそうだとアドバイスをする。 ・逃げよう、あきらめようと思っただけで、最後まで頑張っていたことを認め合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの考えを批判し合うのではなく、自分や他の人のよさを理解し合うことを目的とするため、聞く観点を示す。 ・前時の学習の観点（似ている、違っている、違って共感する）も聞くときの参考にさせる。 ・個人の心にひびいたことを全体で共有する。
	心 を み つ め る	<p>5. よりよい生き方を指すことについて、これからの自分の思いをまとめる。</p> <p>○ 今またはこれからの目標に向かっていくとき、どのようにすることが大切だと考えているか、自分なりの考えを書きましょう。</p>	<p>〔 目標の達成のためには、一つ一つ小さな目標を立てて、それを達成できるまで最後までやり通すこと。 〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい生き方を指すことについて、自分の心をつめさせる。
終末		<p>6. 本時のまとめをする。</p> <p>○ 書いたものを発表しましょう。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・よりよく生きようとする思いをもつ自分がいることをみつめさせる。